

11月6日(水) 山形県保育協議会委嘱の「公開保育研究会」が、はやま認定こども園で開催！

今年度のはじめに、社会福祉法人敬愛信の会が山形県保育協議会の委嘱を受けて、系列4園の中から、当園とかほくあいこども園の2園が公開保育を行うことで準備を進めています。

公開保育には、県内各地の幼児教育施設から両園合わせて100名を超える参加の申し込みがあり、午前9時30分から11時00分まで公開保育、午後は河北町にある「サハトベにはな」で研究全体会が開催されます。

村山市はやま認定こども園の 研究テーマは、法人目標の「あいの中で瞳輝く子どもたち」を踏まえ、『伸びやかな育ちのために「つながる」を大切にした保育』～みんなでわくわくしよう～として実践を積み上げてきました。

いよいよ6日は本番…、「子どもたち一人一人がわくわく感を持って活動し、笑顔いっぱいの公開保育となること」を楽しみにして、最後の準備を進めていきたいと思います。保護者の皆様にぜひ公開保育当日、体調万全で登園し、元気いっぱい活動できるようご支援をいただければと思います。

なお、公開保育当日は、9時00分頃から参観者が多く来園し始めますので、お忙しい中大変恐縮ではありますが、8時45分頃まで登園してくださいますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

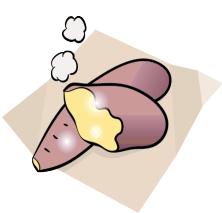


研究テーマのイメージ図



11月の予定

- 1日（金）身体測定
- 4日（月）振替休日
- 6日（水）山形県保育協議会委嘱
＊「公開保育研究会」（当園開催）
- 7日（木）誕生会
- 8日（金）保護者研修会（講演会）
＊酒田市「ごと助産院」院長
後藤敬子 先生
- 12日（火）年長児大根ぼり
卒園写真撮影（午後）
- 13日（水）かもしかクラブ
- 14日（木）歯科検診
- 16日（土）市保育者職員研修
＊東京大学 遠藤利彦 先生
- 20日（水）職員会議
- 21日（木）えいごであそぼう
- 23日（土）勤労感謝の日
- 29日（金）災害訓練
＊布団持ち帰り



保護者研修会「いのちの教育」 11月9日(金) 14:00~15:30

このたびの保護者会研修は、酒田市で「ごと助産院」を開院している助産師の「後藤敬子先生」です。私も、これまで様々な講師の先生とお会いしてきましたが、ごとさん（後藤敬子さん）ほど、印象に残るお話を聞くことができた方はほかにいなかったと思います。子育て真っ盛りの保護者の皆様にはぜひ「ごとさん」のお話を聞いていただければと思います。

「いのちの尊さ」「親としての心のエネルギーの充電」に加え、お子様の顔が思い浮かぶ素敵なお話になると思います。



社会福祉法人敬愛信の会 村山市はやま認定こども園だより R6.11.1 (拡大号)

はとっぽ



発行責任者 園長 土屋常義



「間違ってもいい 負けてもいい あきらめないで最後まで頑張ったみんなが金メダル」

上記タイトルは、10月5日(土)の以上児運動会当日まで、年長組の担任が子どもたちに声掛けをしていた言葉です。そして、本番はその言葉通り、子どもたち一人一人、最後まであきらめない精一杯の頑張りと最高の笑顔を見せてくれました。お忙しい中、子どもたちの活躍にたくさんの拍手と応援をいただきました保護者の皆様、ご家族様に心より感謝申し上げます。また、運動会を終えた翌週に、とっても温かなエピソードがありました。

以下に紹介させていただきます。

みんなで応援する光景に思わず感動!



年中さんに在籍するお子さんが数名当日体調不良で欠席…、それまでの練習で頑張ってきた成長の姿を保護者さんに見ていただきたいという担任の思いで、欠席していた子どもも加えて、みかん組全員で「ドリームバルーン」を披露する場が設けられました。

堂々と披露する年中児の子どもたち、それを手拍子で応援する未満児を含む全園児……、その光景に心が温くなる感動を覚えました。このような「一人一人を大切にした保育」の実践、手前味噌ながら先生方の前向きさにも心から感謝です。(写真は、披露後、他の年次も加わって一緒に活動している様子です)

この職員の前向きさも、保護者の皆様のこども園の運営に対するご理解とご協力が職員の背中を押してくれているのだと思うと、これもまた嬉しく思います。

今後もはやま認定こども園の職員一同、保護者の皆さんや地域との連携協力を大切にしながら、子どもにとっての「価値ある体験」は何かを考えて指導・保育に努めていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



♡ 10月生まれのお友だち「お誕生日おめでとう」♡

10月8日(火)に10月生まれのお友だちの誕生会を開催しました。誕生日を迎えた子どもたち 10名、大変元気にご挨拶をしたり、お話をしっかり聞いたりすることができましたよ。✿

今回、10月生まれの誕生会のお祝いとして、シンガーソングライターの「南壽あさ子」さんにもご来園いただき、子どもたちに歌のプレゼントをしていただきました。

今回のように「本物にふれる体験」は、子ども自身の「感性と知性」を育むとされています。「本物体験」は、芸術分野だけではなく「自然での直接体験」なども大切な本物体験です。これからも、子どもの成長を第一に考え、次年度の活動を検討していきたいですね。



(以下に、南壽さんからメッセージが届いておりましたので紹介します)

先生方や子どもたちが温かく受け入れてくれてありがたい気持ちで胸がいっぱいになりました。子どもたちの明るい笑い声や歌声は未来への希望を感じさせてくれます。中でもはやま認定こども園の子どもたちはみんな真っすぐで見ていて本当に心が洗われるようです。

こんな風にのびのび育つことができるは、園長先生はじめ先生方の気持ちのこもった接し方があってこそだと思いますし全幅の信頼を寄せて園に預けられる保護者のみなさんの愛があるからだなとても感激いたしました。

一緒に歌った「ちいさなラズベリー」では、一生懸命に歌って踊る姿に「ウル」とときてしまいました。

子どもたちの曇りのない瞳には、また自分も明日からがんばろうという覚悟を持たせてくれます。



またお会いできる日を心から楽しみしております



2歳児は元気に！

1歳児も笑顔で！

0歳児も親子で笑顔いっぱい！

「未満児 親子運動遊び」(ブログ掲載済)

10月23日(水)に、未満児クラスで「親子運動遊び」を開催しました。保護者の皆様には、お忙しい中ご来園いただき、本当にありがとうございました。

運動遊びには、「体創 Lab.」の三井寺 優先生にご来園いただき、子どもの発達段階に応じた運動を指導していただきました。どのクラスも、親子一緒に笑顔で活動する様子がとっても微笑ましかったです。

「楽しかった以上児 秋の遠足」

10月10日(木)は絶好の遠足日和…。

年長さんは、大江町にある「山形県朝日少年自然の家」に、年中さんと年少さんは、「かほく動物園から町内の中央公園」で友だちとたくさん遊んだり、秋探しをしてたりして楽しくておいしい(おうちの方のお弁当)時間を過ごしてきたようです。同じ日、未満児のお友達も「近隣の戸沢小学校や園周辺の農道などを散歩」したりして、体いっぱい秋を感じてくれました。園に戻ってきた子どもたちは、遠足での楽しさを持ち帰った木の実を見せあいながら、楽しく過ごす姿が印象的でした。



【村山市「子育てフェスティバル」 10/27(日)大成功！】

当こども園併設の子育て支援センター「ぐんぐん」が主管となり、市子育て支援センター連絡会主催で「子育てフェスティバル」がリンクむらやまで開催されました。ぐんぐんのスタッフに加え、こども園の先生方も多数ボランティアで参加してくれたり、保護者の方や子どもたち、先生方まで多数来場してくれたりして、とても盛会のフェスティバルとなりました。(出店をしていただいた保護者の皆様も本当にありがとうございました) ボランティアや出店等の協力者が150名ほど、そして来場してくれた方が800名超、およそ1000人規模の大規模イベントとなりました。

「子育てはひとりでないよ」…、この度のフェスタのテーマです。はやま認定こども園の保護者の皆様には、今後も子育てで相談事がありましたら、何なりと担任や「ぐんぐんのスタッフ」に遠慮なくご相談ください。
「チームはやま」はいつも保護者の皆様の応援です。

